

平成 25 年 12 月 4 日
信州ブランド推進室

1 目的

本年度からスタートした信州ブランド戦略の一環として、信州ファンの裾野を広げ、更に継続的かつ双方向で信州との関わりを持つコアな信州ファンを増やすため、信州の魅力をまるごと共有（シェア）するオール信州活動拠点「しあわせ信州シェアスペース（仮称）」を整備する。

2 なぜ今整備するのか（背景）

- (1) 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定による、東京の世界に向けたハブ機能の高まり
- (2) 2015 年 3 月新幹線金沢延伸で広がる、首都圏マーケットの可能性を呼び込む
- (3) 益々激化する地域間競争に勝ち抜く必要性
- (4) 「物」の豊かさから「心」の豊かさに価値観が変化する中、信州のライフスタイルが評価

3 拠点のコンセプト

「フェア」ではなく、「シェア」

・・・単なる催事の場所ではなく、信州の営みを共有する場

「伝える」だけでなく、「つながる」

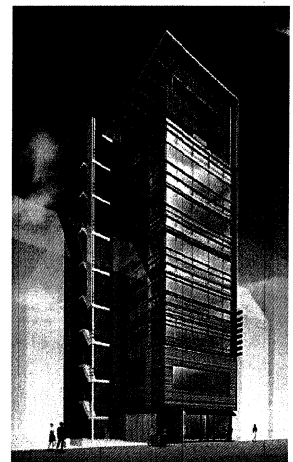
・・・一方向で伝えるのではなく、双方向・継続的に関係性を作る

「観光地」ではなく、「関係地」

・・・一過性の観光地ではなく、「コト」「ヒト」「モノ」を通じ、
繰り返し訪れていただく目的地に

4 所在地の概要

東京都中央区銀座 5 丁目 「すずらん銀座 5 丁目ビル（仮称）」
（うち 1、2、4 階を賃借）



（建物のイメージ）

5 事業内容

「美しさと健康」をテーマとする。

○1 階：「信州の健康な暮らし」を体感するリビングスペース

・くつろいだ雰囲気の中で、信州の暮らしを体感し、生産者や製作者との交流を通して、買う楽しみを味わいながら、長野県への来訪や食材の購入に結び付ける。

○2 階：「キッチン&イベントスペース」「観光PR」「移住交流・就職相談」スペース

・オープン型のキッチンを備えたイベントスペースとして、料理教室などを通して、信州の食文化を体験していただき、健康を育んだ信州の農畜産物をアピール
・リビング、キッチン、セミナーと連動して、全ての機能を観光PRや移住に結び付ける。

○4 階：「コワーキングスペース」（共働利用オフィス）

・長野県民、首都圏住民双方が集うオフィスを設け、「信州」に関心のある人々が集まって、信州と首都圏を元気にするビジネスを生み出す。

6 運営体制

○設置主体 長野県

○運営主体

観光協会：1 階（リビングスペース）

2 階（キッチン、観光PR）

長野県：2 階（イベントスペース、移住交流・就職相談）

4 階（コワーキングスペース）



（コワーキングスペースのイメージ）

7 成果目標

拠点への来場者数、移住や就職相談の件数、首都圏メディアに取り上げられた件数などを今後検討

8 予算案

138,141千円（一般財源）

（債務負担行為（H26～35年度）

821,899千円（一般財源））

9 経費積算

【現年分】

（単位：千円）

項 目	予算額	説 明
施主工事と同時に 行う工事関係	34,500	詳細設計業務委託料 工事費・監理業務委託料
内装・設備等工事 関係	13,278	詳細設計業務委託料
物件関係	90,363	保証料 賃料1年分 不動産仲介手数料 賃料1月分 賃借料 平成26年4月分
合 計	138,141	

【債務負担行為分】

（単位：千円）

項 目	予算額	説 明
物件関係	821,899	建物賃借料 9年11月分
合 計	821,899	

10 今後のスケジュール（イメージ）

